

新八代屋の保存活動が始動 ～地域と学生が歴史的建造物の清掃を実施～

7月5日、馬見原の繁栄を伝える町指定文化財(建造物)「新八代屋の家屋」で、保存と活用を目指す清掃作業が実施されました。この建物は明治時代に建築され、しょうゆ醸造を営む商家として使われていた歴史的な店舗兼住居です。今年4月に町の所有となったことをきっかけに、今後は地域交流を支える新たな拠点として期待されています。当日は「馬見原街づくり協議会」の皆さんをはじめ熊本県立大学の学生ら約30人が集まり、長年の歴史が感じられる屋内の清掃活動が行われました。

学生の一人は「迫力ある建物に感動しました」と語り、歴史の魅力を感じた様子でした。協議会の他力雄二会長は「今後、地元の子もたちが新八代屋を知ってもらうイベント等を企画したい」と、地域活性化に向けた意気込みを語ってくれました。



御小屋(おこや) 保存修理事業に着手、現場見学会を実施



屋根の解体状況



見学会の様子

御小屋は、約170年前の嘉永5年(1852)頃、国宝通潤橋建設の際の現場監督小屋として建造された建物です。通潤橋と共に歴史的価値を有する建造物であることから、令和5年(2023)、国宝の附(つけたり)指定を受けました。

御小屋では、近年、茅葺屋根の劣化が進み、雨漏り等が甚大であったため、早急な修理が必要でした。このため、建造以来初となる根本修理(一度すべて分解して、部材を一つひとつ調査したうえで再び組み立て直す修理方法。全解体修理ともいう。)を実施しています。工事は令和8年4月から開始し、修理中の建物を風雨から守るため素屋根で覆い、解体(分解)に着手しています。

7月11日(土)には、今しか見られない修理の現場を一般公開し、町内外から48名の参加がありました。

今後、町のホームページやYouTube、Instagramを使い、修理の進捗状況などを紹介します。

※附(つけたり)指定とは
文化財本体とともに一体的な価値を有する資料や附属建造物などを本体とあわせて指定するもの。

飯星かすみさん(野尻)が座位バレーボールの世界大会に出場！

5月19日～24日にアメリカ・オーランドで「2026 USA VOLLEYBALL SITTING CUP」が開催され、本町から飯星かすみさんが日本代表として出場しました。

世界屈指の強豪であるアメリカやブラジルを相手に惜しくも敗れたものの、世界の舞台で最後まで熱い戦いを繰り広げられました。飯星さんは今後も世界大会に出場される予定です。さらなる活躍を期待するとともに、引き続き応援していきます。



上益城郡公民館連合会研修会 として講演会が開催されました！

7月8日に千寿苑において、上益城郡公民館連合会主催による講演会が開催され、上益城郡の各町から公民館関係者が50名ほど参加しました。

講師には、山都町金内在住の鳥越靖基さんをお招きし、「有機農業と音楽と地域を奏でる」と題して講演いただきました。

講演では、有機農業の営みと人の心を動かす音楽が地域コミュニティを育み地域の活性化に繋がっているという、ご自身の実践や経験を踏まえた内容をお話いただき、参加者も興味深く聞き入っていました。



講演いただいた鳥越靖基さん

バドミントンの上益城郡中学校総合体育大会が開催されました！

6月21日に嘉島町民体育館にてバドミントンの上益城郡中学校総合体育大会が開催され、山都ふれあいスポーツクラブに所属している選手が好成績をおさめました。清和中学校の選手の方は県大会に出場されました。

矢部中学校 女子団体 準優勝

伊田 愛美さん、鋤本 楓佳さん、橘 心羽さん

末藤 ひまりさん、田上 采佳さん

清和中学校 女子シングルス 準優勝

佐藤 文さん

清和中学校 男子ダブルス 優勝

大塚 煌介さん、倉岡 玄さん



上段左から大塚煌介さん、倉岡玄さん、佐藤文さん
下段左から伊田愛美さん、鋤本楓佳さん、橘心羽さん
末藤ひまりさん、田上采佳さん